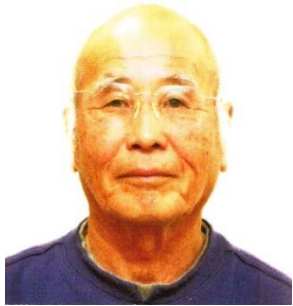


平成30年度		
氏名	ひらのまさのり 平野正憲	
生年	昭和22年生	
住所	兵庫県篠山市	
品目	丹波篠山山の芋（たんばささやまやまのいも） <ul style="list-style-type: none"> ・塊形のツクネイモで、伝来には諸説あるが、江戸時代初期に栽培が始まり、戦後の県立農科大学や関係機関による研究・系統選抜で栽培方法が改善 ・昭和46年には栽培面積240haに達したが、現在は38haまで減少 ・粘りが非常に強く、肉色は純白できめ細かく、緻密で変色しにくい ・生菓子や上用饅頭、軽羹などに使われ、日常的にも食されるほか、最近では「篠山まるごと丼」などご当地グルメの材料としても採用 	
技術	自家系統保存と新技術・資材の導入等による高品質な山の芋生産 <ul style="list-style-type: none"> ・細やかな栽培管理と長年の経験、高度な栽培技術で安定した収量と品質を確保（反収：1.3t、特秀比率：70%）（地域の平均0.5t/10a、47%） ・翌年の種芋を収穫する専用ほ場を設置し、2種類の自家選抜系統を維持 ・JAや普及センターと連携して、防草シートや肥大期のチューブ灌水、畦上防草の被覆資材（スリットマルチ）、畦立機の導入により省力化を実践 	
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・退職前（県職員：普及）から農業に取り組み、平成20年の退職後に本格就農し、現在の経営規模は2ha、施設100㎡で、山の芋（30a）、黒豆（20a）、水稲（130a）、その他（直売向けの野菜、花、栗など）（20a）を栽培 ・JA・市・普及センターが主催する山の芋スクールの圃場実習講師や圃場視察の受け入れ（通年：平成30年は21名）や、卒業生への個別指導を実施 ・JA山の芋部会副部長として市場等との話し合いやPR活動を実施 ・山の芋栽培の省力化の一部としてドローンによる農薬散布の実証を普及センターとともに実施（令和元年～2年） 	
相談に 応じられる 分野・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・山の芋の栽培技術指導 ・農業関係者等の現地視察の受入 ・テレビ、新聞等のメディアからの取材対応 	
受賞歴等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度 丹波篠山山の芋共励会優良賞 ・平成27年度 丹波篠山山の芋共励会努力賞 ・平成28年度 丹波篠山山の芋共励会最優秀賞 	
主な役職	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年～ JA 丹波ささやま山の芋部会本部 委員 ・平成29年～ JA 丹波ささやま山の芋部会本部委員 副部長 ・令和元年～ JA 丹波ささやま山の芋部会本部委員 会長 	
H P		

